

北部機械金属業界の景況動向

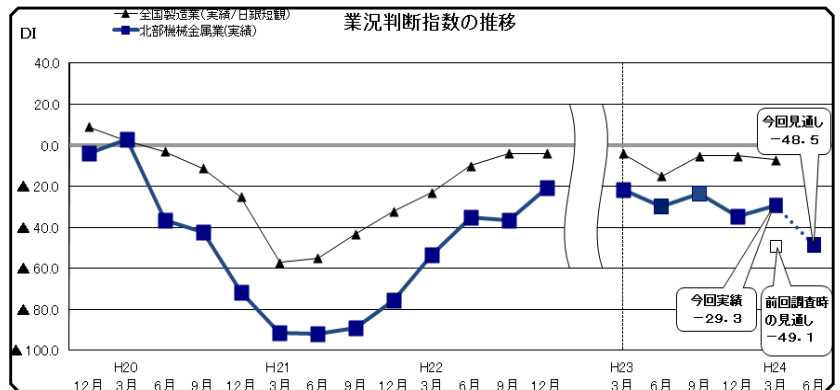
(2012年1~3月実績/2012年4~6月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業285社 【調査時点 平成24年3月下旬】
- 回答数：126社（回答率44.2%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:18、舞鶴市:18、綾部市:18、宮津市・与謝郡:16、京丹後市:56
 - ②取扱別 = 一般機械:55、電気機械:11、輸送機械:24、精密機械:19、その他:17
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:53、10~19人:19、21~49人:32、50~99人:12、100人以上:10
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●1~3月実績のDI(業況判断指数)は-29.3となり、前回調査(10~12月分。以下「前回」という。)より5.2ポイント改善した(前回-34.5)。地域別では、福知山市域は-11.1(前回-26.7)と15.6ポイント、舞鶴市域は11.1(前回-31.6)と42.7ポイント、綾部市域は-38.9(前回-52.9)と14.0ポイント改善したが、宮津市・与謝郡域は-62.5(前回-61.5)と1.0ポイント、京丹後市域は-35.7(前回-24.5)と11.2ポイント悪化した。このように、DIは舞鶴市域を除く地域でマイナスの状態が続いている。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

北部地域全体の景況感は、中丹地域では持ち直してきているものの、丹後地域では落ち込んだ状況が続いている。

●4~6月見通しのDIは-48.5と、前回より0.6ポイント改善した(前回-49.1)。すべての地域で前回に続き「非常に良い」とする企業はない。また、「悪い」「非常に悪い」とする企業が中丹地域では前回より減少しているが、丹後地域では増加している。このように、今後の見通しについても、中丹地域と丹後地域の地域間での差が開いていることが明らかになった。

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	16.7	37.3	34.9	11.1	
福知山市	27.8	33.3	27.8	11.1	
舞鶴市	33.3	44.5	22.2		
綾部市	11.1	38.9	38.9	11.1	
宮津・与謝	37.5	43.8	18.7		
京丹後市	14.3	35.7	37.5	12.5	

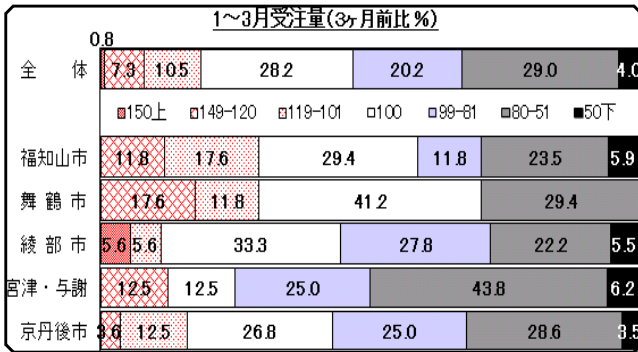
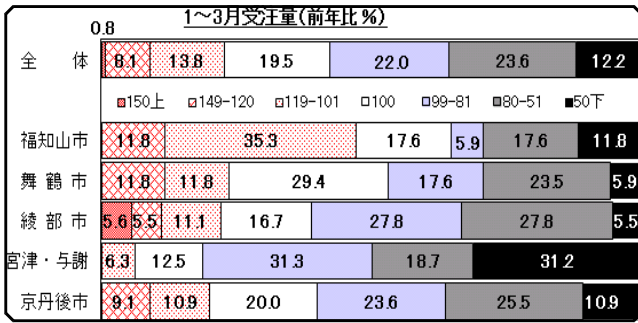
地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	7.2	37.1	45.2	10.5	
福知山市	11.1	44.5	33.3	11.1	
舞鶴市	16.7	33.3	44.4	5.6	
綾部市	5.6	33.3	50.0	11.1	
宮津・与謝	40.0	46.7	13.3		
京丹後市	5.4	36.4	47.3	10.9	

2 採算状況

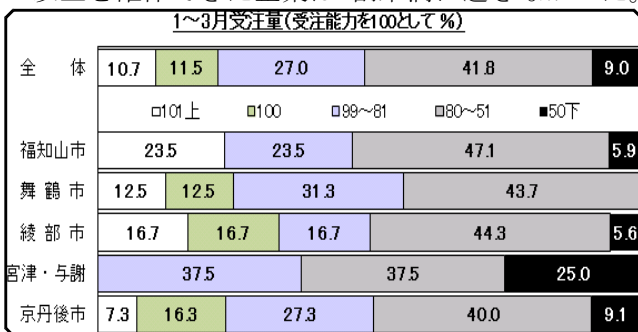
●1~3月の採算状況は、黒字とする企業が18.7%(前回20.5%)、赤字とする企業が33.3%(前回32.2%)と、4期連続で赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況となっている。地域別では、黒字とする企業が宮津市・与謝郡域で皆無であり、赤字とする企業も5割以上と最も高い。前回と比較すると、中丹地域では赤字とする企業の割合が減少しているが、丹後地域では増加している。

地域	黒字	トントン	赤字
全体	18.7	48.0	33.3
福知山市	27.8	33.3	38.9
舞鶴市	27.8	55.5	16.7
綾部市	17.7	58.8	23.5
宮津・与謝	43.8	56.2	
京丹後市	18.5	48.2	33.3

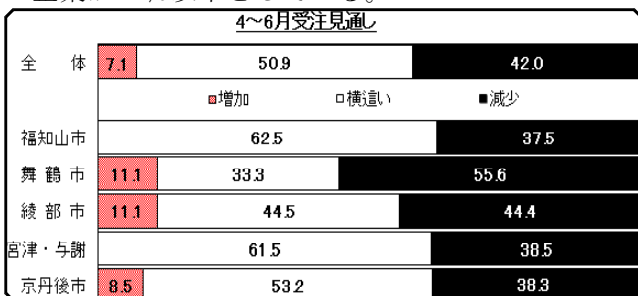
3 受注量



●1~3月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は42.2%（前回39.6%）と増加した。地域別では、宮津市・与謝郡域では対前年同期比100%以上を確保できた企業は、前回同様2割に満たなかった。全域では、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業も46.8%（前回46.0%）とわずかながら増加した。地域別では、舞鶴市域では7割以上の企業が対3か月前比100%以上を確保できていたが、宮津市・与謝郡域では、対3か月前比100%以上を確保できた企業は3割未満に過ぎなかった。

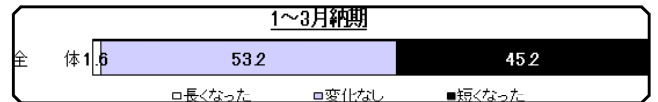
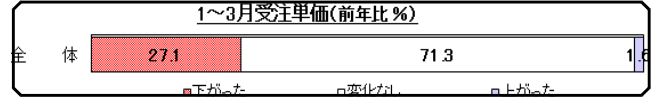


●1~3月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は22.2%（前回29.4%）と減少した。地域別では、綾部市域では3割以上の企業が100%以上としている一方、宮津市・与謝郡域では2割以上の企業が50%以下としている。



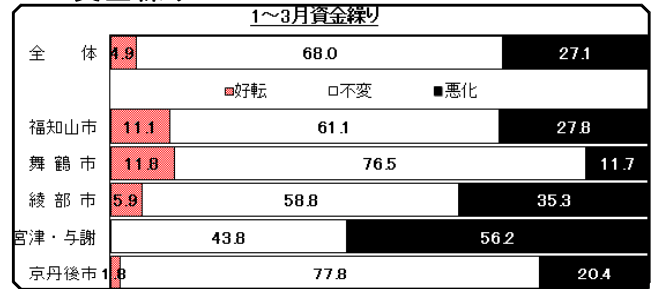
●4~6月受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は7.1%（前回3.0%）と4.1ポイント改善し、減少を見込む企業の割合は42.0%（前回38.4%）と3.6ポイント悪化した。福知山市域及び宮津市・与謝郡域では、増加を見込む企業は皆無となっている。また、舞鶴市では減少を見込む企業が半数以上となっている。

4 受注条件（受注単価／納期）



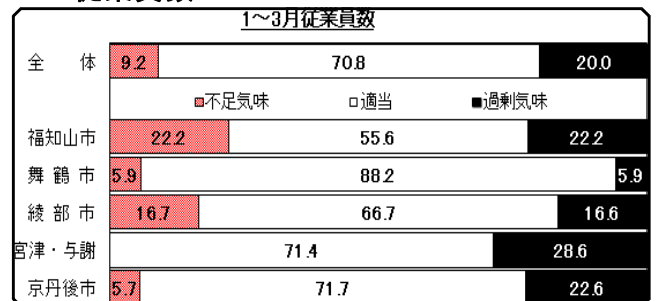
●受注単価が下がったとする企業は27.1%（前回23.8%）、納期が短くなったとする企業は45.2%（前回42.7%）と、前回調査以上に厳しい状態になっている。しかし、前回調査時よりも受注単価が上がった、納期が長くなったと回答した企業の割合もわずかながら上昇している。

5 資金繰り



●資金繰りは、好転とした企業が4.9%（前回2.7%）、悪化とした企業が27.1%（前回25.9%）となった。地域別では、宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であり、悪化とした企業の割合も宮津市・与謝郡域で最も高く、半数を超えている。

6 従業員数



●従業員数は、不足気味が9.2%（前回13.0%）、過剰気味が20.0%（前回22.2%）となった。地域別では、宮津市・与謝郡域では不足気味とした企業がなかった。